

平成 22 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 ラックホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 三 柴 元
 (JASDAQ・コード番号：3857)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 管 理 室 長 岩 崎 勝
 電 話 03-6757-0100

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 14 日に公表した平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想および個別業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 22 年 5 月 14 日発表)	14,800	△50	△150	△290	円 銭 △15.16
今回修正予想 (B)	15,867	334	232	140	円 銭 1.68
増減額 (B-A)	1,067	384	382	430	—
増減率	7.2%	—	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	14,665	△94	△249	△458	円 銭 △17.69

2. 個別業績予想の修正

(1) 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成 22 年 5 月 14 日発表)	1,357	225	162	128	円 銭 1.17
今回修正予想 (B)	1,378	290	240	249	円 銭 5.93
増減額 (B-A)	21	65	78	121	—
増減率	1.5%	28.9%	48.1%	94.5%	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	1,031	279	190	167	円 銭 6.45

3. 業績予想修正の理由

(1) 連結業績予想

①売上高

システムインテグレーションサービス事業（以下、S I S事業という。）では、当社子会社の「株式会社保険システム研究所」の株式譲渡の影響による売上の減少があったものの、受注が順調に推移したことにより、計画を上回る見通しです。

セキュリティソリューションサービス事業（以下、S S S事業という。）では、コンサルティングサービスの受注が減少したものの、運用監視サービスにおける既存顧客の更新受注や関連商品の受注が堅調に推移したことにより、ほぼ計画どおりとなる見通しです。

ディーラー事業では、HW/SW販売においてサービス業など非金融機関向け案件の受注が増加したことにより、計画を上回る見通しです。

以上により、連結売上高は158億67百万円（前回予想比10億67百万円の増加）となる見通しです。

②営業利益、経常利益、四半期純利益

営業利益は、S I S事業では売上高の増加に加え、内製稼働率の向上や販売費及び一般管理費の低減により、計画を上回る見通しです。S S S事業では新規ソリューションの開発に向けた準備作業などにより販売費及び一般管理費が増加したため、計画を下回る見通しです。ディーラー事業では売上高の増加に加え、販売費及び一般管理費の低減により、計画を上回る見通しです。さらに、オフィス集約を契機に間接業務の集約と効率化により間接要員の適正化を図るなど、グループ全体で販売費及び一般管理費の低減を推進したことにより、連結営業利益は3億34百万円（前回予想比3億84百万円の増加）となる見通しです。

連結経常利益は連結営業利益の増加により2億32百万円（同3億82百万円の増加）となる見通しです。

連結四半期純利益は、子会社株式譲渡による特別利益の計上や、前期に特別損失として計上した移転損失引当金について、一部戻入れが発生し特別利益として計上したこと、間接要員の適正化費用を特別損失として計上したことなどにより、1億40百万円（同4億30百万円の増加）となる見通しです。

(2) 個別業績予想

営業収益はほぼ前回予想どおりとなる見通しです。営業利益は経費低減の推進により2億90百万円（前回予想比65百万円の増加）となる見通しです。経常利益は、営業利益の増加により2億40百万円（同78百万円の増加）となる見通しです。また、連結業績予想に記載のとおり子会社株式譲渡による特別利益の計上や、間接要員の適正化費用を特別損失として計上したことにより、四半期純利益は2億49百万円（同1億21百万円の増加）となる見通しです。

4. 通期業績予想

急激に進んだ円高・株安や世界経済の減速による景気先行き懸念から厳しさが増しつつあること、また当社グループの事業特性上、下期偏重の予算としていることなどを総合的に判断し、通期連結業績予想ならびに通期個別業績予想は平成22年5月14日の公表値から変更ありません。

- ・業績予想に関する注意事項

当資料に記載する業績見通しにつきましては、現時点で得られた情報に基づいて作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があることにご留意ください。

以 上